

## T O P I C S

## 実習形式の繊維評価技術の講習を開催

ーモノづくり百工塾で品質評価技術のステップアップー

繊維生活部 八十島梨沙 (やそしまりさ)

yasoshima.risa@irii.jp

専門：繊維物性、繊維構造

一言：繊維関係についてお気軽にご相談ください。



繊維製品の品質管理や、製造工程で発生する欠点（製品不良）の原因調査については、さまざまな試験内容があり、製品や欠点に適した試験方法を選択する必要があります。

そこで工業試験場では、県内繊維企業の技術者の試験方法や計測機器への理解を深めるため、「繊維の評価技術・欠点解析コース」と題した講習（モノづくり百工塾）を昨年度に4回コースで開催しました（表）。本講習では、品質評価や欠点解析に用いる計測機器の特徴および操作方法を解説し、さらに実際の糸や生地などの試料を用いた実習を行いました（図）。受講者からは、「クレーム対応の際のデータの裏付けとして、今後の仕事に役立つと感じた」、「外部機関に試験依頼をすることが多かったが、

自分で測定することにも挑戦していきたい」といった感想が聞かれました。

工業試験場では、今年度もモノづくり百工塾として繊維の品質評価および欠点解析に関する講習を開講予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

表 昨年度のモノづくり百工塾の内容

	内 容
1回目	物性試験（引張試験・引裂試験）
2回目	熱分析試験（熱分析・熱応力試験）
3回目	顕微鏡観察（走査型電子顕微鏡・デジタルマイクロスコップ）
4回目	風合い評価（引張・せん断・曲げ・圧縮・摩擦・接触冷感性）



図 昨年度の座学および実習の様子